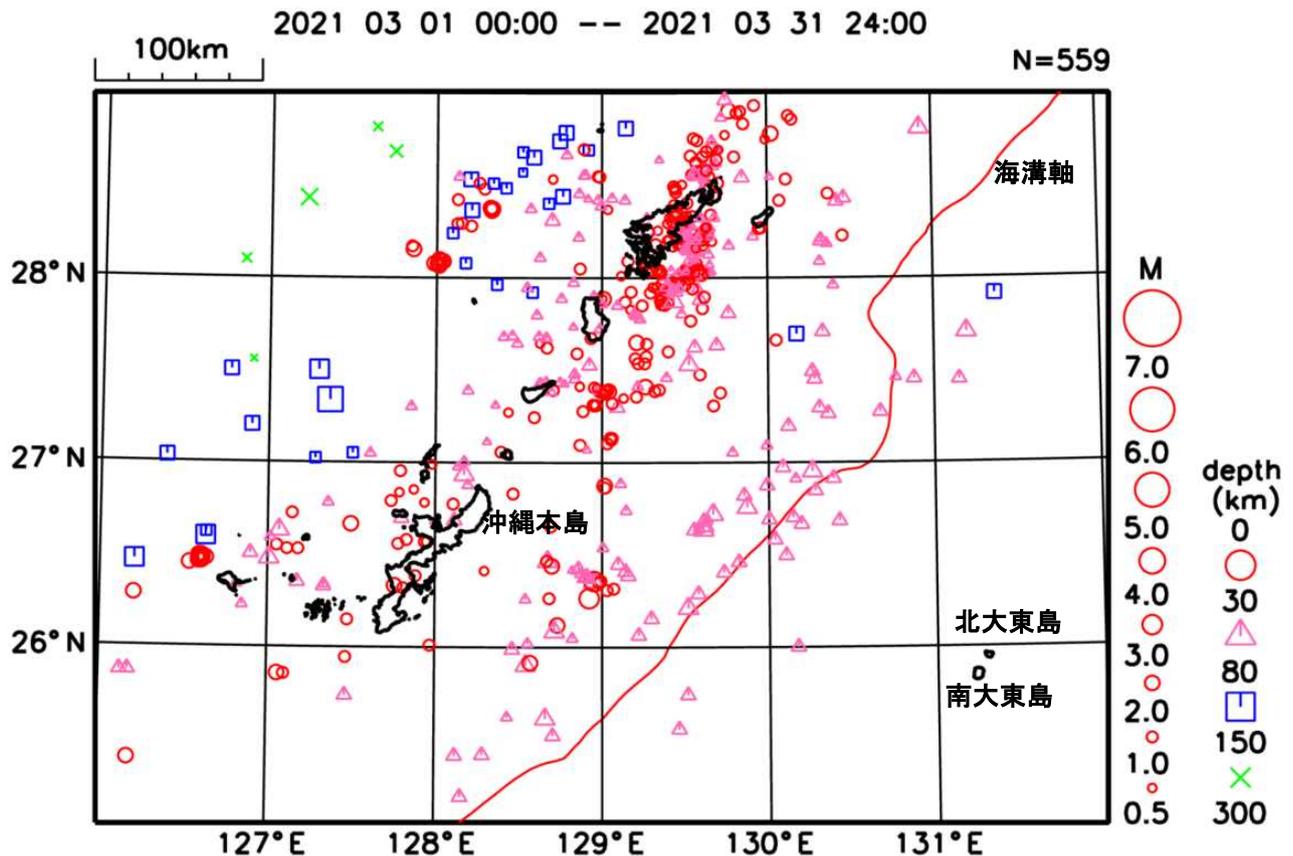


大東島地方の地震活動

2021年3月

南大東島地方気象台

震央分布図



図中の記号 M : マグニチュード depth : 震源の深さ
N : 地震回数 (マグニチュード 0.5 以上の回数です)
沖縄県内で震度 1 以上を観測した場合は、吹き出しで示しています。(範囲外を震央とする地震あり)

[概 況]

今期間に、大東島地方で震度 1 以上を観測した地震は 1 回でした (2 月はなし)。なお、沖縄本島地方でも 1 回観測しました (2 月も 1 回)。

また、大東島地方周辺 (上図の範囲) で観測した地震は 559 回 (2 月は 462 回) で、このうち M4.0 以上の地震は 2 回 (2 月は 3 回) でした。

27 日 07 時 02 分に宮古島北西沖 (上図の範囲外、震央は次頁の震度分布図参照) で発生した地震 (M6.2、深さ 152km) により、沖縄本島地方から宮古島、八重山地方にかけて広く震度 2 を観測し、奄美群島や南北大東村で震度 1 を観測しました。

なお、大東島地方で震度 1 以上を観測したのは、2020 年 8 月 1 日に奄美大島近海で発生した M4.5 の地震 (北大東村で震度 1) 以来です。

※沖縄地方 (沖縄県) の地震については、沖縄気象台作成の「沖縄地方の地震活動」をご覧ください。

URL : <https://www.data.jma.go.jp/okinawa/data/jishin/quake.html>

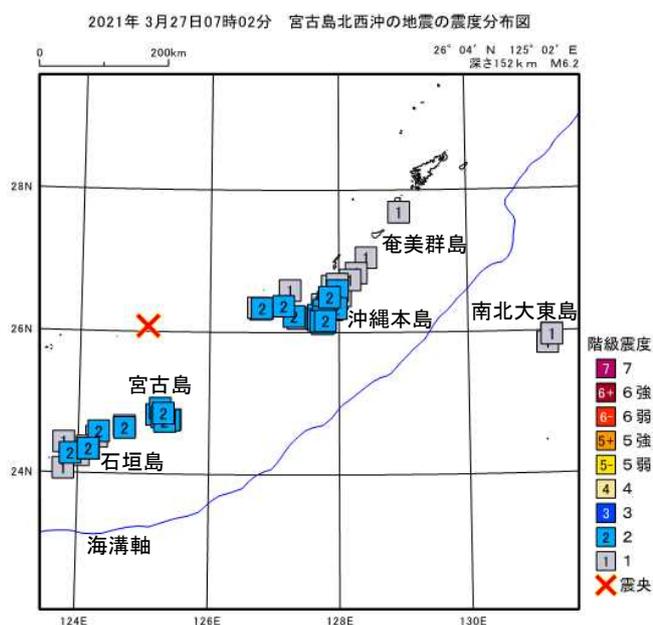
大東島地方及び沖縄本島地方で震度1以上を観測した地震の表（期間：2021年3月1日～31日）

震源時 各地の震度	震央地名	緯度	経度	深さ	規模
2021年03月27日07時02分 沖縄県	宮古島北西沖	26° 04.6' N	125° 02.4' E	152km	M6.2
震度2：名護市港＊、恩納村恩納＊、那覇空港、那覇市港町＊、北谷町桑江＊、西原町与那城＊ 豊見城市宜保＊、与那原町上与那原＊、座間味村座間味＊、渡名喜村渡名喜＊ うるま市みどり町＊、うるま市与那城平安座＊、うるま市勝連平安名＊ 八重瀬町具志頭＊、八重瀬町東風平＊、南城市玉城字玉城、南城市佐敷字佐敷＊ 南城市大里仲間＊、南城市佐敷字新里＊、久米島町謝名堂、久米島町比嘉＊ 多良間村塩川、宮古島市平良下里、宮古島市城辺福北、宮古島市平良池間 宮古島市上野新里、宮古島市伊良部前里添、宮古島市平良狩俣＊ 宮古島市城辺福西＊、宮古島市上野支所＊、石垣市登野城、石垣市平久保 石垣市新栄町＊、石垣市美崎町＊、竹富町大原					
震度1：南大東村在所、北大東村黄金山、北大東村中野＊ 名護市宮里、名護市豊原、国頭村奥、国頭村辺土名＊、今帰仁村仲宗根＊ 本部町役場＊、宜野座村宜野座＊、栗国村浜、那覇市樋川、宜野湾市野嵩＊ 浦添市安波茶＊、沖縄市美里＊、読谷村座喜味、嘉手納町嘉手納＊、南風原町兼城＊ 渡嘉敷村渡嘉敷＊、うるま市石川石崎＊、久米島町山城、久米島町仲泊＊ 多良間村仲筋＊、石垣市新川、石垣市伊原間＊、竹富町黒島、竹富町波照間 竹富町上原青年会館＊					
鹿児島県 震度1：伊仙町伊仙＊、与論町茶花＊					

＊の付いた地点は気象庁以外の震度観測点です。

※大東島地方及び沖縄本島地方以外に震度が観測された場合は、その震度も記載します。

大東島地方及び沖縄本島地方で震度1以上を観測した地震の震度分布図



※資料中のデータについて

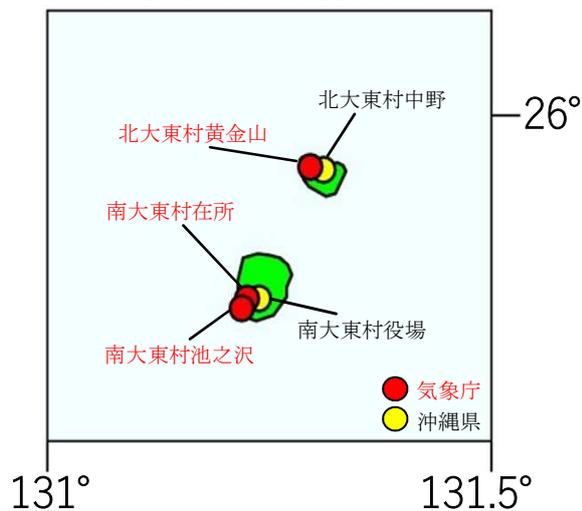
この資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

※概況中の震源の深さについて

震源の深さは、精度がやや劣るものは表記しないことがあります。

※データについては精査により、後日修正することがあります。

大東島地方の震度観測点



 気象庁 南大東島地方気象台
Japan Meteorological Agency Minamidaitoujima Local Meteorological Office

本件に関するお問い合わせ先

電話:09802-2-2006

ホームページ:<https://www.data.jma.go.jp/daitou/>

地震への備えと適切な対応行動

地震から身を守るために

地震に備える

地震は…

- 地震はいつどこで起こるか分かりません。常に自分の事として考え、いつどこで起きてもその場に合った行動が出来るようにイメージトレーニングや対応行動の訓練をしておきましょう。
- 地震の強い揺れにより、物が落ちたり、倒れたり、動いたりすることを想定しておきましょう。

事前の確認

- 室内になるべく物を置かない**安全スペース**（物が落ちてこない、倒れてこない、移動しない空間）を作っておきましょう。
- **家具を固定**しましょう。万が一、倒れてきた場合でも、**通路をふさがらない**ような配置を考えましょう。
- 非常時のための水・食料の備蓄や、非常用持ち出し品を準備しておきましょう。
- 普段通る道に危険な場所や物が無いか確認しておきましょう。
- 地盤の弱い場所や地震によって地盤の緩んだ場所では、降雨などにより土砂災害が発生することがあるので、前もって周囲の状況を確認しておきましょう。
- 地震が発生したときの連絡手段や集合場所について、**あらかじめ家庭で話し合っ**ておきましょう。



安全スペースには、厚手の手袋、底の厚い履物を用意しておく

廊下や喫室に退避する（廊下、喫室にはなるべく物を置かない）

安全スペースのイメージ

（東京消防庁の資料を基に地震調査研究推進本部が加筆）

参考ページ https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/jishin_bosai/index.html

地震が起きた時の適切な対応行動

地震の揺れを感じたら…

周囲の状況に応じて
あわてず、まず身の安全確保を!!

緊急地震速報を見聞きしたら…

家庭では

- 安全スペースに避難する
- 頭部を保護し、丈夫な机の下など安全な場所に避難する
- あわてて外へ飛びださない
- 無理に火を消そうとしない



屋外（街）では

- ブロック塀の倒壊に注意
- 看板や割れたガラスの落下に注意



人が大勢いる施設では

- 係員の指示にしたがう
- あわてて出口に走り出さない



鉄道・バスでは

- つり革、手すりにしっかりつかまる



地震・火山に関する情報は
沖縄気象台ホームページまで

<https://www.data.jma.go.jp/okinawa/data/jishin/quake.html>

沖縄気象台

検索

